



拠点名称： 日本語日本文化発信力強化研究拠点形成

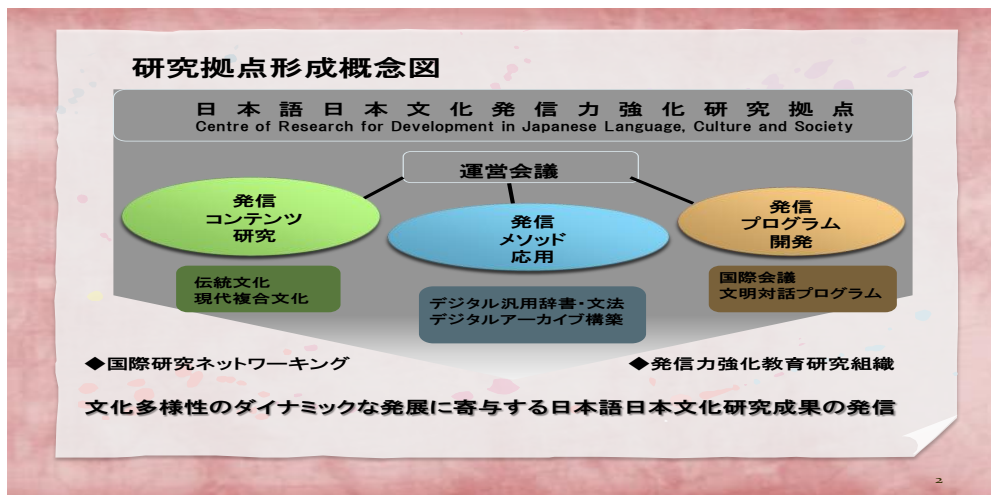
Centre of Research for Development in Japanese Language, Culture and Society

拠点代表者： 人文社会系・教授・坪井 美樹

研究拠点形成計画の概要

研究機関であり高等教育機関である大学には、現在の日本及び世界が抱える課題のソリューションとなる研究を遂行し、その成果を積極的に国際社会に発信すること、また、そのような発信力を持ったグローバル人材を育成することが期待されている。本事業は、「日本語日本文化の発信力強化」をテーマとする研究を行い、国際発信力強化のモデル拠点を形成することを目標とする。

本事業は、①発信コンテンツ基礎研究部門、②発信メソッド応用研究部門、③発信プログラム開発部門の3部門から成る。



研究拠点形成に係る研究の概要

発信コンテンツ基礎研究部門は、日本文化の発信として「何を発信するのか？」に答える研究を行う。それにより、伝統文化と現代文化の新たなあり方を問い、国際社会における日本人・日本社会の新たなアイデンティティについて提言型の考察を行う。発信メソッド応用研究部門は、「どのように発信すれば国際社会に受け入れられる有効な発信となるのか？」に答える国際コミュニケーション研究と、研究データをデジタルコンテンツ化し世界に発信する人文情報学研究を結びつけ、ICT 技術を応用した文化発信の方法論研究を行う。発信プログラム開発部門は、「国際的な発信力を如何に培うか？」に答える研究を行う。発信力向上のために、グローバル人材育成を視野にいた文化交流教育プロジェクト開発と、戦略的な国際ネットワーク形成を実施し、発信力を持った人材養成のための言語教育・文化教育・コミュニケーター養成のプログラム開発を行う。

本事業では、最終的に、3部門の研究成果を統合し、文化発信力強化のための政策提言、および日本文化コミュニケーター育成のプログラムを提案することを目指す。